

令和7年度 事務事業マネジメントシート				段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価				5590	ウェブ等情報発信事業				政策開発部		広聴広報課						
1 事業概要				中事業番号		85							所属コード		063000						
政策体系				SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段 意図 (目的)								
大綱 (取組)				IV 「誰もが地域で輝く未来」		16.6								ウェブサイト管理システムを利用し、レイアウトやデザインを統一したウェブサイトを、適切な時期と期間に公開し、情報の更新も随時行う。また、LINE・Facebook・YouTubeなど、各SNSの特性を生かした情報発信を行う。				市民や市外の方々などに対し、見やすさ、分かりやすさ、正確さを確保しタイムリーに、かつ、積極的に情報を提供する。			
施策				1 市民生活に活力があり、地域で楽しく元気に暮らせるまち		16.10	○					○									

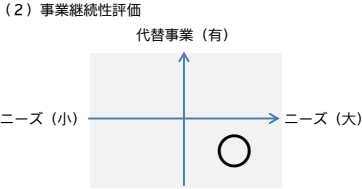
事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
ホームページを開設することを求められ、文字情報の提供が中心だった。		スマートフォンの普及によりインターネットを通した情報社会が飛躍的に進展。ウェブサイトの主な閲覧媒体もPCからスマートフォンへと変化。情報提供が様々な媒体で行われる中、ウェブサイトは迅速に多様な情報提供する方法として広く浸透されており、昨年のまちづくりネットモニターによると市ウェブサイトは91.0%の人が閲覧経験があった。また、情報発信ツールとしてSNS等の活用についても必須となっている。		スマートフォンやSNSの機能の進化、オープンデータの蓄積などに伴い、インターネットによる情報発信が今後ますます重要度を増していく中、ウェブサイトは、さまざまな情報発信ツールの特性を生かしたクロスメディア戦略の核であり、さらに重要なツールとして位置づけている。		タイムリーな情報提供に加え、コンテンツの見やすさや検索性の向上などが求められている。	

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	1日当たりのウェブサイトアクセス件数（成果指標①/365）	件		45,921		40,296		40,625								
活動指標①	ウェブサイト公開ページ数	ページ	8,000	6,011	8,000	7,191	8,000	6,037	8,000		8,000		8,000			
活動指標②	ウェブ広告枠	枠	72	104	144	16	144	130	144		144		144			
活動指標③																
成果指標①	市ウェブサイト総アクセス数	件	16,761,203	16,761,203	16,928,815	14,708,112	17,098,103	14,828,192	17,269,084		17,441,775		17,616,193		16,595,251	17,269,084
成果指標②	LINE登録者の数	人	13,000	14,459	14,500	17,652	16,000	20,748	17,500		19,000		19,000		11,226	17,500
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	1日のウェブアクセス件数当たりのコスト	千円		0.44		0.54		0.58	0.45		0.45		0.44			
単位コスト（所要一般財源から算出）	1日のウェブアクセス件数当たりのコスト	千円		0.47		0.51		0.55	0.47		0.46		0.46			
事業費		千円		13,184		13,469		13,144	9,620		13,679		13,679			
人件費		千円		8,519		8,166		10,251	8,519		8,519		8,519			
蔵出計（総事業費）		千円		21,703		21,635		23,395	18,139		22,198		22,198	0		
国・県支出金		千円							0		0		0			
市債		千円							0		0		0			
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円							0		0		0			
その他		千円		1,394		1,101		950	950		871		871			
一般財源等		千円		20,309		20,534		22,445	17,189		21,327		21,327	0		
蔵入計		千円		21,703		21,635		23,395	18,139		22,198		22,198	0		
実計区分		評価結果	継続	継続	継続	継続	拡充	継続								

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
ウェブサイトの公開ページについては、今年3月にウェブシステムの更新時期を迎え、同じシステムを継続したが、改めて古くなったウェブページ等の削除を行ったため、一昨年と同程度の公開ページまで減少した。ウェブ広告枠については、昨年からの広告代理店に変更になり、きめ細かい営業の結果、9月からは全枠に広告が入った。		総アクセス数は昨年度と同程度に落ち着いている。これは、2年前と比べると200万回近く減少しているが、新型コロナウイルスが第5類に移行し、ワクチン情報等へのアクセスが減少したことによる。LINEについては、昨年度620件の情報発信を行ったほか、希望者はごみの分別日を定期的に配信を行っていることから、登録者の数は毎年約3千人の増加で推移しており、昨年は3,096人増加した。		【事業費】 今年3月に3年間のウェブサイトシステムの更新時期を迎え、同じシステムを更新し、維持費が減少したため、前年に比べ▲325千円となった。	
				【人件費】 今年3月のウェブサイトシステム更新に係る作業のほか、トップページ改修及び動画まとめサイトを新設したため、人件費が前年比2,085千円増加した。	

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4



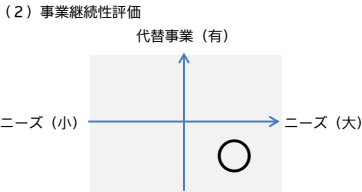
継続	一次評価コメント
継続	ウェブサイトは、新型コロナウイルスが第5類に移行したことに伴い、閲覧回数が減少しているが、2024年度の1,480万回は、2019年度の1,421万回と同程度であり、コロナ禍前の水準に戻ったといえる。ウェブサイトは各課で随時最新の情報を掲載しているが、古くなったページもあり、昨年公開ページの見直しを行い、昨年よりも1,000ページ以上減少した。ウェブ広告については昨年度仙台的の広告代理店が応じし、きめ細かい営業を行っており改善が図られた。昨年11月実施のまちづくりネットモニターの評価によると、約90%の方がウェブページを見たことがあり、その中約6.1%の人が「わかりやすい」「ややわかりやすい」と回答しており、ウェブコンサルからも現在の市のウェブサイトはわかりやすいとの評価を得ている。そのため、今年3月のウェブサイトの更新では、前のシステムを更新し、その際、トップページの改修及び動画まとめサイトの新設を行った。また、LINEについては、昨年3月にリッチメニューの見直しを行った。その効果もあり、登録者数は着実に増えており、今後についても見やすく分かりやすいLINE広告に努めていく。

5レシ	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムープレス（会議レス）
			○		

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	○

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4



継続	二次評価コメント
継続	ウェブサイト公開ページ数は計画値には満たなかったが、ウェブシステムの更新に併せてウェブページ等の整理を行ったためであり、住民の利便性向上が図られた。ウェブの広告枠についても計画値には満たなかったが、広告代理店の変更に伴い前年度より増加しており、事業の改善がみられる。アクセス数についても、前年度対比では増加しており、コロナ禍前の2019年度と比較すると同水準に回復している。またLINE登録者数は着実に増加しており、引き続き情報発信ツールとしてSNS等の活用・普及が望まれる。 市民の情報ニーズやデジタル化の進展に合わせ、市民や市外の方々に対して分かりやすく正確な情報をタイムリーに提供するためには当該事業は必要不可欠であるため、継続して事業を実施する。

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画